

# 核酸系抗生物質の合成研究 Synthetic Study of Nucleoside Antibiotics

○市川 聡<sup>1</sup>(<sup>1</sup>北大院薬)

近年の疾病形態や医療の変化とともに、耐性獲得菌の増加や他の疾患により引き起こされる 2 次感染など、抗菌剤の重要性が再認識されてきており、新たな作用機序を有する薬物やこれまで注目されていなかった菌体に対する薬剤の創製は急務である。

Caprazamycin 類は結核菌や耐性菌種に対して抗菌活性を示し、宿主細胞に対する毒性が低いことから、有効な治療効果を示す抗菌剤として期待されている。我々はこれらの核酸系抗生物質の特異な構造と優れた生物活性に着目し、全合成研究に基づいた抗菌剤の開発を行なっている。本発表では、caprazamycin 類のコア構造である caprazol、構造活性相関の検討を見据えた誘導体、並びに関連化合物 FR-900493 の合成研究の詳細について発表する。

